

研究課題名	網羅的ゲノム解析による消化器神経内分泌腫瘍の原因解明と新規診断・治療法の開発
研究責任者名	広島大学病院病理診断科 教授 有廣光司
研究期間	2016年1月27日(倫理委員会承認後)～ 2023年3月31日
対象者	2008年1月から 2015年12月の間に、広島大学病院消化器外科で消化器神経内分泌腫瘍を摘出し、余剰試料が保存されている患者。
意義・目的	消化器神経内分泌腫瘍は、Grade-1、Grade-2、Grade-3に分類されますが、それぞれの発症メカニズムについてはまだ解明されていません。今回、神経内分泌癌（Grade-3）の網羅的ゲノム解析を行い、その成果を基に疾患分類の再考や創薬開発に向けた基盤データの蓄積を目的とします。本研究は国際多施設共同研究です。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、性別、生年月、無再発生存期間、予後情報、ホルモン療法の有無と処方された薬剤名、化学療法の有無と処方された薬剤名です。 余剰試料は匿名化後、国立がん研究センターに情報を集め次世代シーケンサーで解析します。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	国立がん研究センター 東北大学 東京女子医科大学 東京大学 名古屋大学 和歌山県立医科大学 鳥取大学 香川大学 富山大学 Johns Hopkins 大学 Utrecht 大学
試料・情報の管理責任者	国立がん研究センター 研究所 がんゲノミクス研究分野 特任ユニット長 (現、大阪大学大学院 医学系研究科がんゲノム情報学教授) 谷内田 真一
個人情報の保護について	

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5590

広島大学病院病理診断科 教授 有廣光司